

市議会だより



発行◆渋川市議会
編集◆渋川市議会報編集委員会

2022年〈令和4年〉
2月1日 第65号



広報と一緒にとして保存しましょう

表紙の写真：祖母島地区のどんど焼き

令和3年

12月渋川市議会定例会

■本会議のあらまし	2ページ
■常任委員会の審査	3～4ページ
■一般質問（11人の議員が市政を問う）	5～11ページ

令和3年 12月定例会

新型コロナウイルス対策関連補正予算ほか 全員一致で可決

あらまし

令和3年12月定例会は11月30日から12月13日までの14日間の日程で開催されました。請願1件、字区域の変更、公の施設の指定管理者の指定、条例改正、補正予算など19議案が提出され、一部の議案を除き各常任委員会に付託され慎重に審議が行われました。請願は多数決で不採択、議案はすべて原案のとおり可決しました。

人権擁護委員候補者の推薦の同意

令和4年3月31日の任期満了に伴い、宇木京子氏を推薦するものです。全員一致で同意しました。

字区域の変更

群馬県宮赤城西麓中原土地改良事業の施行に伴い、地区内の土地の区画と形状が改められたことによる変更です。全員一致で可決しました。

渋川市体育施設条例の一部を改正する条例

渋川市武道館及び渋川市赤城総合運動自然公園スポーツセンターに空調設備が

設置されました。使用料など所要の改正をするものです。全員一致で可決しました。

渋川市ふるさと創生基金条例の一部を改正する条例

企業版ふるさと納税に係る寄附金を積み立てるため、所要の改正をするものです。全員一致で可決しました。

渋川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

昨今増加傾向にある、再生利用が可能な資源ごみ等の持ち去りを防止するため、条例の一部を改正するものです。全員一致で可決しま



再生利用が図られる資源ごみ

渋川市下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例

令和2年度末に公共下水道の事業区域として追加された37haの区域について、

受益者負担金の賦課徴収に必要な事項(負担区の名称、単位負担金額)を条例に追加するものです。全員一致で可決しました。

渋川市消防団条例の一部を改正する条例

日中の火災現場で不足する消防力を補うため、基本団員のほかに、特定の消防業務に限り従事する機能別団員の任用基準を定めるものです。全員一致で可決しました。

渋川市図書館堀口基金条例

渋川市図書館の図書資料や施設の充実、図書館事業の振興を目的とし、堀口靖

之氏からの寄附金を基金に積み立て、有効に活用するため条例を制定するものです。全員一致で可決しました。

令和3年度一般会計補正予算(第10号・第11号・第12号)

第10号と第12号は主に各種新型コロナウイルス対応や子育て世帯への臨時特別給付金などの事業、第11号は広域組合の負担金割合の変更や校外活動支援バスの更新などの予算補正です。全員一致で可決しました。

～今回可決しました新型コロナウイルス感染症対策の 補正予算の一部を紹介します～

◎住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の支給

1,017,301千円

◎子育て世帯への臨時特別給付金の支給

972,806千円

◎新型コロナウイルスワクチンの3回目接種

469,709千円

◎「モノ・コトクーポン」の追加配布

148,484千円

◎生活困窮世帯への灯油の購入費助成

45,755千円

◎小規模事業者の事業継続の支援

39,800千円

常任委員会の審査

各常任委員会に付託された議案(総務市民4議案、経済建設3議案、教育福祉5議案、予算4議案)はすべて全会一致で可決しました。主な質疑等は次のとおりです。

総務市民

茨川市消防団条例の一部を改正する条例

質疑 今回新たに設置する機能別消防団員の日頃の訓練は。

答弁 機能別消防団員は火元での活動ではなく、資機材の用意など後方支援を行います。消防団長の命により訓練を実施していく考えです。

質疑 機能別消防団員の報酬が基本団員の半額以下なのはなぜか。

答弁 基本団員と異なり、従事時間が決められていることや、すでに機能別消防団員を配置している県内市町村等の調査結果を踏まえ、

年額2万円としました。

茨川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

資源ごみ等の持ち去りを防止するための条例改正です。

質疑 条例改正により、違反行為者を市が認定し、さらに市長が違反行為を行わないよう命ずることができるようになる。抑止効果が高まる。しっかりと周知すべきと考えるが。

答弁 回収団体等に周知徹底を図っていきたいと考えています。

総務市民常任委員会協議会 市から次の事項について、報告・説明がありました。

- ・(仮称)茨川市インターネット上の誹謗中傷等の防止及び被害者支援等に関する条例の制定方針について
- ・第2次茨川市総合計画後期基本計画策定方針について
- ・茨川市災害廃棄物処理計画の策定方針について

経済建設



道の駅おのこ

公の施設の指定管理者の指定について

小野上地区の農産物直売所の指定管理者に、一般社団法人道の駅おのこを指定

するものです。

質疑 今後、上信道の開通や前橋市に設置される道の駅の影響が見込まれるが、対策は。

【答弁】 地元の方が農産物を出荷したり、地元の特色を生かした商品の開発を行ったりしています。観光客を呼び込むための看板の設置や地域の連携を強化しながら多くの人に来ていただけるよう努力していきます。

質疑 自主事業をしっかりとやっていただいて集客を囲わないと、今後ますます営業が難しくなると思うが。
【答弁】 昨年度は大学生等の意見を取り入れながら、トイレの利用のみにとどまらないような対策をしました。今後とも利益が出るような自主事業を検討調整していきます。

教育福祉

渋川市体育施設条例の一部を改正する条例

武道館及び赤城総合運動

自然公園スポーツセンターに空調設備を設置したことに伴う改正です。

質疑 空調の使用料が設けられたが、何を基準に設定しているのか。

【答弁】 子持社会体育館を参考にしました。



空調が設置された武道館

渋川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

認定こども園や保育所、幼稚園などで作成される記録について、これまでの書面に加え、新たに電磁的記録による作成も可能にする規定を設けたものです。

質疑 現在、市内の保育事業で電磁的記録をどの程度利用しているのか。

【答弁】 保護者へのお知らせや市との事務的なやりとりや電子メールを利用しています。一方で園からのお便りなどは紙のほうが温かみがある場合もありますので、バランスよく活用することが大切だと考えています。

このほか付託された請願1件は不採択としました。

教育福祉常任委員会協議会

市から次の事項について、報告・説明がありました。

渋川市国民健康保険あかぎ診療所の休止について

質疑 診療所は再開するのか、しないのか。

【答弁】 現在、検討中です。結論はいつ出るのか。

【答弁】 今年度中におおむね決定できると考えています。

質疑 地元への説明もなく休止が発表され、動揺が広がっている。地元説明会を開くべきだったのでは。

【答弁】 患者さんの動向は伺

っていましたが、配慮が足りなかったと感じています。
質疑 現場の声が大事。きちんと声を拾うべき。

【答弁】 市民の意見を取り入れる方策を検討していきます。

予算

一般会計補正予算(第11号)

バス交通デマンド化事業

北橋地区で試行運行しているデマンドバスを令和4年度から本格運行に移行するとともに、小野上・子持地区での導入に向けた調査を実施するための補正予算です。

質疑 北橋地区の取り組み状況は。

【答弁】 北橋地区で行っている試行運行の日別の乗車実績データなどから北橋地区の移動需要の特性などを調査しています。また、利用実態の把握のため、高齢者のふれあいサロン等に出向き、説明会や乗車体験会などを計画しています。現在

北橋地区の試行運行の成果を本格運行につなげるための検証作業を続けています。

ごみ処理施設運営費

質疑 ごみ処理負担金の予算を減額した理由は、市のごみ減量化の取り組みの成果によるものか。

【答弁】 減額理由はコロナ禍の影響もあり、事業系ごみが大幅に減少し、ごみ処理施設運営費が減少したことによるものです。家庭ごみは増えているので、ごみ減量化の取り組みによるものではないと考えます。

介護保険特別会計

補正予算(第2号)

生活援助食事サービス事業

質疑 対象者と利用者ほどのくらいいるのか。

【答弁】 登録者数は511人です。利用者数は4月は184人、10月は210人で、徐々に増加傾向にあります。

一般質問

～11人の議員が市政を問う～

※ 一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

P 6 田村 なつ江 議員

- コロナ禍から市民を守り未来志向のまちづくりを
 - 1 新型コロナウイルス感染症への対応
 - 2 コロナ禍の女性や子どもへの影響
 - 3 新しい価値観での観光振興

P 7 加藤 幸子 議員

- 聴こえの問題
- 芝附橋周辺の工事について
- 遊休農地（耕作放棄地）対策について

P 8 茂木 弘伸 議員

- 安全で安心なまちづくり
 - 1 子どもの安全対策について
 - 2 高齢者の安全対策について
 - 3 地域の防犯対策について

P 9 板倉 正和 議員

- 市政の課題への対応と令和4年度の予算編成について
- 住宅等耐震改修の支援充実について
- 中小企業、小規模事業者支援の強化について

P 10 田中 猛夫 議員

- 市職員定年年齢の引き上げについて
- 市政と市民要望

P 11 後藤 弘一 議員

- 医療体制について
- 歴史的な文化遺産の維持や管理とその活用について

P 6 安カ川 信之 議員

- 渋川市の目指すもの
 - 1 脱炭素社会
 - 2 日本一の教育都市
 - 3 共生社会の実現

P 7 角田 喜和 議員

- 生活・環境問題について
- 住民監査請求の対応について
- 転入情報の取り扱いについて

P 8 山内 崇仁 議員

- 安心・安全な教育環境
- 防災・減災について

P 9 須田 勝 議員

- 子どもの声が聞こえるまちづくり
 - 1 親の婚活支援
 - 2 増やそうブライダル
 - 3 新婚者支援

P 10 反町 英孝 議員

- 環境整備について
 - 1 森林整備
 - 2 農地管理
 - 3 空き家、空き地対策



一般質問の詳しい内容は、会議録検索システムまたは議会放映システムをご覧ください。渋川市議会ホームページからご覧いただけます。



田村なつ江

コロナ禍から市民を守り 未来志向のまちづくりを



安力川信之

渋川市の目指すもの

新型コロナウイルス感染症への対応

質問 ワクチン3回目接種の予約方法は前回の反省を踏まえどう考えているか。

スポーツ健康部長 前回と同じ電話・LINE予約のほか接種日や医療機関を市が調整する「お任せ予約」を新たに追加する予定です。

質問 ワクチン接種証明はどこで、どのような形で発行しているのか。

スポーツ健康部長 接種時に交付された紙の接種済証のほか目的に応じて発行されます。詳細はワクチン対策室へ問い合わせください。

コロナ禍の女性や子どもへの影響

質問 DV被害者に親身に寄り添う一元的に相談できる窓口設置を。

市長 DVは重大な人権侵害であり許されない行為です。関係機関と連携し丁寧に対応していきます。

質問 子どもたちの心のストレスは正確に状況を把握し、心のサポートを行うことが大切だと思うが。

教育長 アンケートや教育相談、家庭との連携等により状況を把握し、きめ細かな対応を行います。

新しい価値観での観光振興

質問 マイクロツーリズムによるバスツアーなどが実施されたが、実施状況、今後の予定は。

産業観光部長 昨年度8コース31回、今年度5コース19回を予定し好評を得ています。今後も観光協会やバス会社と連携して進めます。

質問 ウイズコロナ期の観光振興をどう進めていくのか。

産業観光部長 旅行者のニーズが感染症対策等に变化しています。誰もが安心して訪れ、長期滞在できる観光地となるよう支援します。



マイクロツーリズム

脱炭素社会の取り組み

質問 ゼロカーボンシティ宣言を行う考えは。脱炭素社会へ向けての実行計画の策定や推進条例制定の考えは。

市長 自然災害の頻発などにより、全世界で気候変動問題に取り組んでいます。2050年カーボンニュートラルに向け、市民、事業者、市が協力して取り組むことが重要であり、その意識高揚を図るためにも、市独自の温暖化対策推進条例の制定を検討します。

日本一の教育都市渋川を

質問 低学年の基礎学力向上とスタディアシスタント事業の取り組みは。グローバルコミュニケーション能力向上のための英語教育の充実を。

教育長 学ぶ楽しさを味わわせて意欲を高めたり、語彙を豊かにする指導の充実を図ったりするとともに、スタディアシスタント事業をさらに充実させ低学年の学力向上を図ります。また、ALTを活用した英語によるコミュニケーション

ヨソ活動の一層の充実を図ります。

共生社会実現に向けた取り組みを

質問 子宮頸がんワクチンが来春から積極的勧奨を再開する。取り組みと接種できなかった世代への対応は。また带状疱疹ワクチンの公費助成の検討の推移は。

スポーツ健康部長 子宮頸がんワクチンについては国の方針に基づき積極的勧奨を再開できるよう準備します。同時に接種機会を逃した方への対応も検討していきます。带状疱疹ワクチンの公費助成については引き続き研究していきます。



スタディアシスタント事業の様子
(市内小学校低学年教室で)

一般質問



加藤 幸子

市民の安心・安全を求める

質問 全新生児の先天性サイトメガロウイルス感染症スクリーニング検査で先天性難聴の早期発見を。

スポーツ健康部長 市では新生児聴覚検査は実施していますが、質問にあるスクリーニング検査については情報収集を行っていきます。

質問 老人性難聴は認知症の原因ともなるので、市の特定健康診査で聴力検査を実施し、難聴対策を。

スポーツ健康部長 国の基準に基づいて実施している特定健診の中には聴力検査を入れることは現状では難しいです。

質問 八木原地内の芝附橋周辺の改良工事が令和4年3月に完成予定。通学路でもあるので、歩道やガードレール、信号機等の交通対策を。

市長 改良工事により道路幅が6・5mになりますので、その中に歩行空間を設置します。

市民環境部長 信号機設置は難しい状況ですが、重点要望事項として、群馬県に設置要望しました。

農地の適正な管理を

質問 長年草木が繁茂している耕作放棄地は危険。耕作放棄地の指導の徹底を求めるが、指導内容は。

農業委員会事務局長 農地の利用状況調査により遊休農地を把握し、訪問や通知により指導しています。

質問 赤城地区で農地に建物を建てていたとの話を聞いたが把握しているか。課税地目はどうか。

総務部長 農地の上に建物があることを確認したので、遡及し宅地とし適正な課税を行いました。家は調査を行い課税対象であれば適正に課税したいと考えています。



芝附橋周辺道路に歩道の設置を



角田 喜和

家庭ごみの減量化に

分別の細分化を

質問 市から住民異動情報が来なくなり苦慮しているとの相談が自治会長から寄せられている。情報共有の観点から情報提供の考えは。

市民環境部長 自治会長への住民異動情報の提供は、渋川市個人情報保護条例により、中止しております。自治会支援のため、対応を考えてまいります。

質問 生ごみ処理のために清掃センターでは、1年間にドラム缶810本分の燃料を使用している。家庭ごみの減量化のために分別の細分化をすべきと考えるが。

市長 燃料を削減するには、生ごみだけでなく、ごみ全体の減量が必要で、併せて食品ロス削減に向けた取り組みを進めていきます。

質問 金井にある大同特殊鋼(株)の産業廃棄物処分場から浸出水があると聞か、水処理施設の設置計画等状況をつかんでいるか。

市民環境部長 関係自治会への事業説明会開催の報告を受けて以降、市に対する報告はありません。

質問 地下水が汚染されてしまっ

てからでは遅い。金井りんごの里団地周辺の地下水を取水していると思うが検査結果は。

上下水道局長 金井りんごの里団地周辺では2カ所の水源があり、検査結果はすべて基準値以内です。

質問 スラグ混合砕石を使用したスカイランドパーク第2・第6駐車場からは土壌基準を超えるフッ素毒が出ている。瑕疵担保責任の再考を。

建設交通部長 瑕疵担保責任について、資材納入業者に請求できるのか確認をさせていただきます。



清掃センターでの手作業による分別作業

一般質問



茂木 弘伸

安全で安心なまちづくり

子どもの安全対策について

質問 市は教育保育施設の事故防止ガイドラインを策定するが、経緯は。

市長戦略部長 全国で子どもの事故が多発しており、リスク管理のため、政策戦略会議で市独自の統一した指針の策定を協議しました。

質問 登下校時の防犯協力団体の状況の把握は。また、助成制度は。

市民環境部長 自治会をはじめ関係団体、60団体が活動しています。活動団体への助成制度の利用も引き続き推進してまいります。

質問 通学路の安全点検の状況は。

教育部長 渋川市通学路安全推進会議において、関係機関の共通理解を図った上で通学路合同点検を実施し、随時対策を講じています。

高齢者の安全対策について

質問 高齢者等あんしん見守りネットワークの内容は。

福祉部長 市と連携した協力事業者や関係機関が高齢者を見守ることにより、高齢者の孤立や虐待等に迅速に対応する体制です。

地域の防犯対策について

質問 特殊詐欺が増加しているが対策は。

市民環境部長 防災行政無線などを利用した啓発を行うとともに、詐欺被害等防止機能付き電話機等購入補助制度の利用を推進します。

質問 防犯カメラ設置は犯罪抑止に効果がある。人権に配慮し設置を進めてほしい。市長の考えは。

市長 地域の安全を担保するためにも防犯カメラは有効です。公共性・公益性の高い場所へ設置する場合の補助について検討します。



石原西 安全・安心見守り隊



山内 崇仁

安心・安全な教育環境

質問

本市における小中学校の不登校の現状と傾向は。

教育部長 昨年度から増加傾向が見られます。特にコロナ禍に伴う生活リズムの乱れや家庭環境の急激な変化等を要因とする不登校が増加していると考えられます。

質問 生徒と共に校則の見直しを考えていきたいとの意向であったが、その後の状況は。

教育長 生徒総会であがった意見をもとに見直しの検討をしたり、学校評価アンケートや三者連携の地区部会での意見を参考に見直したりしています。

質問 館林市では来年度から中学校の制服を自由選択制とするが、本市での対応は。

教育長 本人や保護者から制服の問い合わせがある場合は個別相談に応じるとともに、スカートに限定せずスラックス等が選択できるように準備を進めています。

質問 コミュニティ・スクールの進ちょく状況は。

教育部長 長年取り組んできた三

者連携推進事業を発展させた形で

コミュニティ・スクールを順次導入し、地域とともにある学校づくりを推進していきます。

質問 イエナプラン教育に対する本市の考えは。

教育長 教職員の配置や特別の教育課程を編成するための研究等多くの課題があるため、現時点で検討を進めるのは難しいと考えます。ただ、令和の日本型学校教育の基本理念に通じるところもあり、その理念を生かしてよりよい教育環境・内容の充実を図ります。



自由選択制となる中学校の制服

一般質問



板倉 正和

新しい渋川を拓く

市政の課題への対応と令和4年度予算編成について

質問 市では政策戦略会議をどのような形で開催し、どのような成果を上げているのか。

市長戦略部長 新たな行政課題や重要施策について、関係する複数の部署と横断的に調整・協議を進め、政策の立案を行っています。

質問 予算編成に当たっては多くの市民の声を反映させてほしい。市民の意見をどのように取り入れているのか。

市長戦略部長 市長と語る会や自治会長会議など、市民の意見を伺うさまざまな機会を設け、可能な限り政策に反映させています。

住宅等耐震改修の支援充実
質問 旧耐震基準の危険な空き家の耐震診断を行ったらどうか。また、耐震住宅への改修支援は。

建設交通部長 耐震診断は住宅の耐震化が目的のため、居住を前提としない空き家については対象外です。市では住宅の無料耐震診断や耐震改修補助など行っています。

中小企業・小規模事業者支援の強化について

質問 地元の中小企業・小規模事業者に対する事業継続支援のこれまでの取り組みは。

市長 国の交付金を財源に、小規模事業者に対しさまざまな市独自の支援策を講じました。今後も必要な対策をしっかりと行います。

質問 経営支援室の窓口対応をどのように考えているのか。

産業観光部長 相談者の立場に寄り添い、分かりやすい言葉を使い、丁寧な対応に努めています。



政策戦略会議

親の婚活支援

質問 未婚の子を持つ親の心配を解消するため、集会、相談会の開催等、行政ができる支援を望む。

福祉部長 出合いの場を提供する事業を実施する団体への補助金の交付は、交流会、セミナーなど柔軟な発想による幅広い事業を募集していますので、親向けの相談会も補助対象と考えます。

質問 合併前の旧赤城村時代に活躍していた結婚相談員を各自治会に置くことはできないか。

市長 未婚の理由はさまざまであり、個々の人生観を尊重すべきと思います。若者に対する経済支援や子育て環境の充実を図ることで、結婚への手助けを行っていきます。
増やそうブライダル

質問 コロナ禍が原因でもあるが、資金不足で新婚者の6割が式を挙げられない。人生最大のお祝いの費用を補助する考えはあるか。

福祉部長 披露宴費用補助が未婚者の結婚への意識付けとなるかについては難しいと考えます。家族



須田 勝

子どもの声が聞ける

まちづくり

を持つことの喜びや楽しさを実感できるように支援に努めます。

新婚者支援

質問 現在市では「渋川市移住定住新生活応援事業助成金」で1世帯5万円、移住加算5万円、最大10万円を助成しているが、さらなる拡充の考えは。

総合政策部長 今年度開始したばかりの制度でありますので、ご利用いただいた方々の実態等を確認し、この制度利用により、多くの人々に渋川市に住み続けていただくよう、検証してまいります。



市民のしあわせが第一



田中 猛夫

定年年齢の引き上げ・市民要望

定年職員の給与

質問 令和5年度から市職員の定年年齢が段階的に引き上げられる。60歳に達した職員の給与基準は。

総務部長

国家公務員との均衡を踏まえ、60歳前の給料月額額の7割水準となるよう、条例において必要な措置を講じる必要があると考えております。

譲渡された温泉施設

質問 譲渡されたすべての温泉施設の利用料金が値上げされた。市民の健康増進のため、無料利用券を増加交付する考えは。

市長

温泉施設の無料券配布だけでなく、ラジオ体操の普及や健康遊具の設置助成、ウォーキング事業の推進など、さまざまな方法で市民の健康増進を図っていきます。

硯石の掘り起こし

質問 市が硯石の原状回復を求めることは、法的根拠に乏しいと思われる。和解により問題を解決する考えは。

市長

市民の請願が議会で採択され、当事者に原状回復を求めるよ



休診している国保あかぎ診療所

う議長から市長に要請されていることは非常に重いものであります。

民意に沿い市の責務を誠実に実行し、原状回復を求めていきます。

国保あかぎ診療所

質問 令和3年12月末で医師が退職する。診療所の経営を継続するため医師確保等の活動を行ったか。

スポーツ健康部長

幅広い視点で検討していただく外部委員会で協議を進めています。現時点では、今後の方向性が示されていないことから、診療所を継続するための医師確保は行っておりません。



反町 英孝

渋川市の環境整備

森林整備

質問 山の荒廃による自然災害が心配される。林業に対する支援は。

産業観光部長

間伐対策事業、きのこの原木再生事業、森林担い手対策事業、高性能林業機械導入事業などの支援をしております。

質問 渋川の自然を守り育てるためにふるさと納税や国や県の補助の活用を。

市長 森林環境譲与税や緑の県民税などを活用し、国土の保全や防災上からも重要である森林の機能をしつかりと守っていきます。

農地管理

質問 農地所有者の高齢化や相続後の非農家等による未利用農地は草木が茂り野生動物や昆虫のすみかとなる。遊休農地の解消に向けた対策は。

産業観光部長

農地利用調整や農地復元、土地改良事業のほか地域活動による管理により、対応してまいります。

空き家・空き地対策

質問 空き家・空き地の管理状況



市役所から見た榛名山

と管理されていない空き家の管理の周知や改善対策は。

総合政策部長

空き家の所有者等へ適正管理に関する通知を発送し、空き家相談や利活用に関する情報提供などを行っています。

環境整備

質問 市と市民や地域、企業や団体等の力を借りて協働による環境改善の取り組みを。

市長 各自治会からも空き家に対する強い問題意識が寄せられています。行政と住民が一体となり、この課題に取り組んでいきます。

一般質問



後藤 弘一

渋川市の未来を見据えること...

医療体制の現状と医療の充実

質問 本市の個人経営の診療所がない地区の現状や小児科が少ない現状をどう捉えているか。

スポーツ健康部長

医療機関がない地域へは、高齢者の足の確保等も含め、関係機関と連携しながら安心して医療が受けられる体制の整備や情報発信を行っていきます。
質問 夜間急患診療所の診療時間や小児科医の対応を増やせないか。
スポーツ健康部長 限られた医療体制の中で時間の延長や小児科医の対応日を増やすことは困難です。
質問 渋川医療センターに小児科や産婦人科を設置できないか。

スポーツ健康部長

産科や小児科を開設するには複数の医師の確保が必要になりますが、産科医・小児科医の確保は非常に困難です。
質問 市が目指す医療体制は。

市長

命を守る体制を考えていくことは何より大切な事です。国や県、医師会などの関係機関と連携し対策を講じていきます。

歴史的文化遺産の活用・継承支援

質問 黒井峯・金井東裏遺跡をはじめとする遺産の活用がさらに工夫できないか。また、国や県指定を受けているメリットは。

教育部長

複数の文化財を関連付けた活用や情報発信に取り組みます。指定の目的は保存の措置を確実に行うため、整備活用の際に国等から補助金が得られます。

質問

各地区から出された歴史的遺産調査の今後の取り組みは。
教育部長 未指定のものも含めて市内の各種文化財を総体的に把握し、保存活用計画を作成します。



安心医療

令和4年3月市議会定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
2/27	28	3/1	2	3	4	5
		本会議 (開会・議案上程)	本会議 (議案上程)	常任委員会 (総務市民 経済建設)	常任委員会 (教育福祉)	
6	7	8	9	10	11	12
	常任委員会 (予算)	本会議 (表決・予算議案上程)	本会議 (予算議案上程)	本会議 (予算議案上程)	休会 中学校卒業式	
13	14	15	16	17	18	19
	一般質問	一般質問	一般質問	常任委員会 (予算)	常任委員会 (予算)	
20	21	22	23	24	25	26
	春分の日	常任委員会 (予算)	常任委員会 (予算)	休会 小学校卒業式	本会議 (表決・開会)	

○本会議は午前10時から開会します。
○日程は変更されることがあります。ホームページ等でご確認ください。

請願・陳情

◎安全・安心の医療・介護・福祉を確立し国民のいのちと健康を守るための国に対する意見書を求める請願
.....【不採択】

お詫びと訂正

市議会だより第64号12ページの須田 勝 議員の一般質問の見出しに誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、次のとおり訂正いたします。
(誤) 「再生から創造へ」
(正) 「市民のしあわせが第一」

令和3年12月定例会の審議結果

条例の制定・・・・・・・・・・・・・・・・ 原案可決

○渋川市図書館堀口基金条例

条例の改正・・・・・・・・・・・・・・・・ 原案可決

○渋川市一般職非常勤職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

○渋川市ふるさと創生基金条例の一部を改正する条例

○渋川市体育施設条例の一部を改正する条例

○渋川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

○渋川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

○渋川市国民健康保険条例の一部を改正する条例

○渋川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

○渋川市下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例

○渋川市消防団条例の一部を改正する条例

人 事・・・・・・・・・・・・・・・・ 同 意

○人権擁護委員候補者の推薦について

令和3年度補正予算・・・・・・・・・・・・・・・・ 原案可決

○渋川市一般会計補正予算(第10号)

○渋川市一般会計補正予算(第11号)

○渋川市一般会計補正予算(第12号)

○渋川市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

○渋川市介護保険特別会計補正予算(第2号)

○渋川市下水道事業等会計補正予算(第1号)

請願・陳情・・・・・・・・・・・・・・・・ 不採択

○安全・安心の医療・介護・福祉を確立し国民のいのちと健康を守るための国に対する意見書を求める請願

そ の 他・・・・・・・・・・・・・・・・ 原案可決

○字区域の変更について

○公の施設の指定管理者の指定について



渋川市議会はインターネット中継しています。市議会ホームページからご覧いただけます。
ホームページアドレス <https://www.city.shibukawa.lg.jp/gikai/index.html>
パソコンのほか、「スマホ・タブレット」でも見られます。

右の二次元コードを読み取るか、インターネットの検索で「渋川市議会」を検索し、「議会放映システム」をタッチしてください。



編集後記

今年の冬は寒さが厳しいと予報されています。コロナ禍と原油高騰でガソリンや灯油をはじめ、商品等の値上げが市民の懐を直撃しています。市では県内に先駆けて、市民の生活を守るため灯油の購入を支援する補正予算を組みました。また、国の子育て世帯への臨時特別給付金の支給も10万円一括給付とし、昨年12月から給付となりました。市民を代表する議会も市民の願いに寄り添った議会であるように一丸となつてこれからも努力していきます。

(編集委員 加藤 幸子)

議会報編集委員会

委員長 山内 崇仁
副委員長 反町 英孝
委員 田村 英孝
田中 猛夫
山崎 正男
加藤 幸子
池田 祐輔